

月刊 利根日石新聞 第000180号

発行 利根日石株式会社 TEL 0278-241635
本社販売管理課 FAX 0278-23-7980

2009年11月1日 創刊 令和6年8月号



ENEOSでんき キャンペーン締め切り迫る!!

まだまだ暑い日が続きますね。
エアコンのフル稼働で電気代が気になっている方
9月30日までにお申し込み頂きますと、
基本料金が「6ヶ月間半額」の特典付きです。



- ペットを飼っている方
- 世帯人数の多い方
- お店を経営されている方
- 経費削減を考えている方



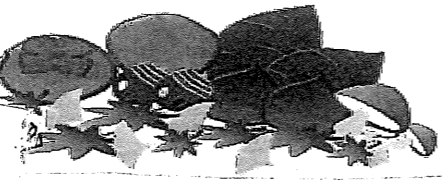
今なら ENEOSでんき おトクに切替キャンペーン実施中!

ご家庭でご利用の お客さま **基本料金 半年間半額**

※業務用(東京動力プラン)をお申し込みのお客さまはキャンペーン内容が異なります。
くわしくはキャンペーン内容をご確認ください。

2024年9月30日まで

「お彼岸 9月19日お彼岸入り」
祖先をまつ大切な行事として、お彼岸があります。
お彼岸は日本独自の行事で太陽の豊作祈願と、祖先の加護を祈る古くからの儀礼が結びついたものと言われています。お彼岸には、墓参りをする習慣があり、祖先の霊を家に迎えるお盆に対して、祖先に会いに行くという側面があります。日本では古来人は亡くなった後もこの世にとどまり、いつまでも子孫を見守ってくれていると考えられてきました。
私達が今にこのにあるのは、産み育てくれた親の存在だけでなく、ここで命を繋いでくれた祖先の存在があるからなのです。しかし生活に追われる毎日を過ごしていると、どうした大切なことを忘れがちです。職場でも目の前の仕事に没頭するあまり、会社や部署を支えてきた人々の存在、引き継がれてきた思いを忘れてしまうことがあるかもしれません。
先人の思いを受けて力強く人生を歩み、職務に邁進したいものです。
私は毎月、父と母の所に草刈り、花の交換に行っています。
会費事はできはいけど、唯一の安らぐ場所。何か辛い事があっても、2人に手を合わせること、また元張るって気持ちに
はれるんだからね。



9月は防災月間です

8月8日、宮崎県の沖合、日向灘でマグニチュード7.1の地震が発生しました。幸い、大きな被害は報告されませんでした。震源地が南海トラフ地震の想定震源域の西端に位置していた為、気象庁は翌9日に「南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)」を発表しました。ただちに避難を促すようなものではないものの行政や政府の情報に注意し、日頃から備えるよう注意を呼び掛けるものです。幸いその後、大きな地震は起きず、1週間後の8月15日に解除となりましたが、この「臨時情報」は政府が運用を開始して以来、初めて発表されたそうです。それだけ今回の地震が重く受け止められた、という事でしょう。

また、8月の最終週には「過去最強クラス」の台風10号が鹿児島県より上陸し、日本列島を縦断、九州・四国・中部など広い地域で土砂崩れや、河川の氾濫が発生し、死傷者が出てしまいました。こうした状況を受けて政府は9月1日に予定していた総合防災訓練を中止しました。

先日、防災研究者である群馬大学の片田教授がラジオ出演した中で、「自然災害に対する政府や行政の発信する情報と、住民が必要としている情報との間にずれが生じている」というような話もしていました。政府や行政が発信する情報は状況を整理・分析して伝える「状況通達型」の情報なのに対して、住民が必要としているのは、具体的に何をすべきかが分かる「行動指南型」の情報だということです。
例えば、冒頭の「南海トラフ地震臨時情報」を政府が発信したり、台風10号の接近に伴って行政が「警戒レベル3(高齢者等避難)」を出したりしても、それを受けた人たちは「で、それで、どうすればいいの?」という感じで思考停止してしまい行動に移らない、という事です。

この点について片田教授は、政府や自治体としては状況を整理してそれを専門家に分析してもらって流す「状況通達型」の情報しか流せない、家の立地や家族構成などによっても避難方法やタイミングは違ってくるので具体的な行動を判断するのはその家族や個人でしか出来ない、その事を一人ひとりが理解する事で、この情報のずれを克服する事は出来ない、というお話をしていました。

9月1日は「防災の日」、そして9月は防災月間です。南海トラフ地震の想定範囲にお住まいの方はもとより、災害が少ないと言われる、ここ群馬県に住む私たちも、いま一度、災害への備えを見直す機会にしましょう。

「満タン&灯油プラス1缶運動」実施中!

全国石油商業組合連合会では、ガソリンタンクが半分まで減ったら満タンに、冬用灯油は通常使う量に加えてもう1缶予備として置いておく「満タン&灯油プラス1缶運動」を推進しています。東日本大震災や大震災の際に、長蛇の列がスタンドに出来、緊急車両や医療機関への配達がままならなくなりました時の状況をつい昨日の事のように憶えています。日頃からの備えで災害に強い社会にしていきたいと思います。

満タンで
安心

灯油プラス1缶で
安心